

Title	乳がん患者の心理的適応と配偶者のサポートに関する研究の動向
Author(s)	大橋, 陽
Citation	生老病死の行動科学. 9 p.83-p.89
Issue Date	2004
oaire:version	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/4972
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

乳がん患者の心理的適応と配偶者のサポートに関する研究の動向

(大阪大学大学院人間科学研究科博士前期課程) 大 橋 陽

Abstract

This report provides an extensive overview on 1) the psychological problems, which breast cancer patients have in the process of facing diagnosis and receiving long-term medical treatment, 2) the validity of support from their spouses and 3) the influences of conversation touches about the disease held among the spouse and the patient. It was suggested that the diagnosis of breast cancer affects the psychological adaptation of patients not only soon after the surgery but over a prolonged period. Approximately, the majority of research supported the effects of spousal support. However, the psychological distress of patients was increased when their spouses took avoidant attitude because of fear and anxiety. The report concludes with the suggestion that further studies need to reflect on the Japanese unique styles of partner relationships.

key words : breast cancer, psychological distress, spouse, support

I はじめに

日本における乳がんの発生率は年々増加の一途をたどり、2000年にはそれまで1位であった胃がんを追い越し、女性悪性腫瘍の第1位となった。診断・治療技術の進歩により、5年生存率は70%以上と非常に高くなり(がんの統計編集委員会, 2003)、女性にとって乳がんは不治の病ではなくなった。しかし乳がんの再発率30%、再発可能性の期間10年と、他部位のがんと比べて経過が長いことから、罹患からその後の治療の過程において、患者はがんと共に生きながら社会に適応してゆかねばならない。

がんに罹患することは患者にとって衝撃的であるということは言うまでもない。乳房は女性にとってはたいへん象徴的な意味を持つ器官であり、女性性やセクシャリティにまで踏み込まないまでも、外見的に明らかな創傷を負うことから、多くの患者が身体イメージや自己イメージを傷つけることとなる(e.g. Lee, Love, Mitchell, Parker, Rubens, Watson, Fentiman, & Hayward, 1992; Schain, d'Angelo, Dunn, Lichter, & Pierce, 1994; 高橋, 1997; 高橋, 2003)。日本ではこのような問題に対する医療関連のサポートは乏しく、むしろ患者主体の相互サポートグループ(患者会)の活動が盛んである。増え続ける乳がん罹患者の生の充実を実現するためにも、様々な立場からのサポートが可能となることが望ましいと思われる。

そこで本論はまず、罹患から治療の過程において、乳がん患者が抱える心理的問題について、最近の研究を中心に概観してゆく。次に、乳がん患者の心理的適応に影響を与えるとされている社会的要因である家族からの支援、特に配偶者からのサポートの有効性についてレビューし、配偶者と患者の間で交される疾患に関する会話が患者に与える影響について触れる。

II 乳がん患者の心理的問題

身体・心理・社会・スピリチュアルの各側面について185名の乳がん患者を対象に行った研

究によると、診断直後と5年後を比較した結果、身体的、心理的健康は有意に改善されていた (Bloom, Stewart, Chang, & Banks, 2004)。また、健康な女性と乳がん患者 349 名を5年間追跡調査した研究では、5年後では健康な女性と患者の間に精神的健康、心理・社会的 well-being、身体機能に有意な差が見られなかったとの結果が得られている (Vinokur, Threatt, Caplan, & Zimmerman, 1989)。このことから、治療後の患者の適応に、身体機能の回復や診断からの時間経過が影響を及ぼすことが伺える。

上述のような乳がん患者の心身の健康状態の回復を示す結果が得られている一方で、乳がんの治療は患者の生命の長さだけでなく、様々な局面で患者の QOL に大きな影響を与えるという結果も先行研究から得られている。乳がんと診断された後から1年間の間に約 20~28%の女性が高いレベルでの抑うつや不安といった心理的ディストレスを経験していることはこれまでの多くの研究によって明らかになっている (Ganz, Coscarelli, Fred, Kahn, Polonski, & Petersen, 1996; Hann, Winter, & Jacobsen, 1999; Irvine, Brown, Crooks, Roberts, & Browne, 1991; Maguire, 1995; Thomas, Glynne-Jones, Chait, & Marks, 1997)。また、術後1年の初期乳がん患者の 3~12%が PTSD の症状を示していた (Green, Rowland, Krupnick, Epstein, Stockton, Stern, Sperus, & Steakley, 1998; Tjemsland, Soreide, & Malt, 1998)。2年間に及ぶ追跡調査を行った Baider & Kaplan (1997) や Bleiker, Pouwer, Ploeg, Leer, & Ader (2000) では、診断から2年後も、16%の女性が高いレベルの心理的ディストレスを示していた。

健康な女性と罹患から5年経過した乳がん患者の比較研究においても、患者の方が情緒的ディストレスが有意に高く、身体的・心理的 QOL が有意に低かった (Amir & Ramati, 2002)。受療中の乳がん患者と健康な女性の比較でも、患者の方が抑うつを呈する割合が高いという結果が得られている (Hann, et al., 1999)。また、Kissane, Grabsch, Love, Clarke, Bloch, & Smith (2004) が、初期の乳がん患者 303 名と再発または進行乳がん患者 200 名を対象に、精神的症状の有病率を比較したところ、初期乳がん患者では 45%、進行乳がん患者では 42%の患者が何らかの精神障害を示す結果となった。

日本においては、乳がんの診断を受けた患者の 20~50%が精神的負担による適応障害を生じていたと報告されている (福江, 1997)。また佐伯・山脇 (2003) が、初期治療終了後の外来通院中の乳がん患者 74 名を対象に調査を行った結果、5%に重度、35%に軽度の抑うつが見られ、13%には明らかな不安が見られた。術後3年以上が経過した乳がん患者を対象とした研究でも、46%の患者に高い心理的ディストレスが見られた (Matsuoka, Nakano, Inagaki, Sugawara, Akechi, Imoto, Murakami, Yamawaki, & Uchitomi, 2002)。これらの結果は欧米を中心に行われた先行研究の結果とほぼ同様の結果といえる。

以上のことから、時間の経過や身体機能の回復は患者の心理的適応に効果があるものの、それでも何割かの患者は治療後もなお高い心理的ディストレスを示すということが明らかとなった。心理的ディストレスが長期間持続することが、患者の QOL やさらには生存率にまで影響を与えると指摘されていることから (Harrison & Maguire, 1994; Helgeson, Snyder, & Seltman, 2004; Tjemsland, et al., 1998; Watson, Haviland, Greer, Davidson, & Bliss, 1999)、今後は患者の心理的不適応を引き起こす諸要因の特定や、長期的な観点での患者の心理的適応を目指した研究が課題といえる。

Ⅲ 配偶者からのサポートと心理的適応の関連

乳がん患者が罹患から治療、そして社会に再び適応していく過程において、他者からのサポート、いわゆるソーシャル・サポートが重要であることは先行研究によって実証されてきている (Baider, Ever-Hadani, Goldzweig, Wygoda, & Peretz, 2003; Franks, Campbell, & Shields, 1992; Meyer & Mark, 1995; Nelles, McCaffrey, Blanchard, & Ruckdeschel, 1995; NHMRC/NBCC, 2000; Vemon & Jackson, 1989)。乳がんは患者のセクシュアリティに関わる疾病であり、日本では医療従事者がそのような問題に対して対応するべきであるという認識は低く (高橋・甲斐・赤林・霞・東・濃沼・久田・志真・大井, 1999)、結果的に夫婦で問題に対処していかなければならない。

配偶者からのサポートに対する乳がん患者の認知が、心理的適応にポジティブな影響を及ぼすことはこれまでの研究によって明らかにされてきている (Bloom, Stewart, Johnston, Banks, & Fobair, 2001; Neuling & Winefield, 1988; Northouse, 1988; Pistrang & Barker, 1995; Quinn, Fontana, & Reznikoff, 1986)。Lichtman, Taylor, & Wood (1987) の、術後およそ2年の乳がん患者を対象とした研究では、患者の心理的適応と配偶者からのサポートに対する乳がん患者の認知には正の相関が見られた。さらに、Hann, Winter, & Jacobsen (2002) が行った大規模調査によると、より多くの他者からサポートを受けており、配偶者からの適切なサポートを多く受けていると認知している乳がん患者ほど、抑うつ得点が低かった。このように多くの研究で配偶者のサポートの有効性を支持する結果が得られている一方で、乳がん患者の心理的適応と配偶者のサポートには関連がなかったことを示す研究も見られる (Ehlke, 1988; Bolger, Foster, Vinokur, & Ng-Rosanna, 1996)。Bolger, et al. (1996) は、患者本人だけでなく、配偶者が受ける心理・社会的ダメージも非常に大きく、配偶者自身が患者の罹患に適応することに困難を感じている状態で、患者に対して適切なサポート提供ができなくなるためではないかと論じている。

以上の研究から、ここでは乳がん患者に対する配偶者からのサポートの効果や、またその与え手である配偶者側のがんに対する心理的苦悩の存在が示唆された。

Ⅳ 配偶者との疾患に関する会話が患者に与える影響について

夫婦は性愛的な関係をもつという点で独特な二者関係であり、セクシュアリティに影響を与える乳がんでは、特に配偶者のサポートが重要であるとされている (Vess, Moreland, & Schwebel, 1985a, 1985b; Weihs, Enright, Howe, & Simmens, 1999)。しかし罹患という事実は、配偶者ががんに対する負の感情を抱かせる一方で、自分が明るく頼れる夫として適切な行動をしなくてはいけないと感じさせる (O'Mahoney & Carroll, 1997)。この配偶者の相反する感情が患者と関わることへの不安を高め、その結果患者を避けるようになったり、疾患に関する話題を避けるようになると考えられている (Lichtman, et al., 1987)。

また Baider, Andritsch, Goldzweig, Uziely, Ever-Hadani, Hofman, Krenn, & Samonigg (2004) は、配偶者はしばしば適切なサポートということについて間違った考えをもっており、患者をかばい守る「保護的 (protective)」役割を行うつもりが、その実は自らの感情を隠そうとしていることがある。しかし患者はその行為を無神経で拒絶されたと落胆し、結果的に夫婦間での疾病に関するコミュニケーションを妨害することとなることも指摘している (Baider, et al., 2004)。これを裏付けるように、配偶者が疾病についてオープンに話すのを拒

否された経験と患者のディストレス増加との関連を示す研究結果が得られている (Desai, Bruce, & Kasl, 1999; Harrison, et al., 1994; Lichtman, et al., 1988; Nordin, K., Berglund, Glimelius, & Sjoden, 2001; Sabo, Brown, Smith, 1986)。

これらの研究結果は、患者が罹患や治療の中で感じる恐怖や不安を大切な他者に表出できないことが、夫婦関係や患者の心理的適応に悪影響を与える可能性を示唆している。

V おわりに

本論では、乳がん患者の心理的適応、配偶者のサポート、配偶者との疾患に関する会話について概観をした。わが国においては、乳がん患者の抱える心理社会的問題やその影響要因について、臨床的見地は得られているものの、それを裏付けるような実証的研究はほとんどなされておらず、さらなる検討を行う必要がある。また、配偶者のサポートという限られた要因だけではなく、患者の疾患に関する要因や、他の心理社会的要因も考慮していく必要があると思われる。

また、配偶者のサポートに関しては、本論では欧米の研究を主に見てきたが、日本人には集団主義・同質社会・間柄主義・恥の文化・甘えの構造・個の確立の弱さといった独自の国民性や対人関係性が存在する (柏木, 1995)。夫婦のような密接な対人関係を理解する際に、わが国における国民性や夫婦間のコミュニケーションに関する文化的・社会的背景を考慮してゆくことが重要であると思われる。

引用文献

- Amir, M., & Ramati, A. 2002 Post-traumatic symptoms, emotional distress and quality of life in long-term survivors of breast cancer : a preliminary research. *Journal of Anxiety Disorders*, 16, 195-206.
- Baider, L., Andritsch, E., Goldzweig, G., Uziely, B., Ever-Hadani, P., Hofman, G., Krenn, G., & Samonigg, H. 2004 Changes in Psychological Distress of Women With Breast Cancer in Long-Term Remission and Their Husbands. *Psychosomatics*, 45, 58-68.
- Baider, L., Ever-Hadani, P., Goldzweig, G., Wygoda, M.R., & Peretz, T. 2003 Is perceived family support a relevant variable in psychological distress?: a sample of prostate and breast cancer couples. *Journal of Psychosomatic Research*, 70, 283-294.
- Baider, L., Kaplan, & De-Nour, A. 1997 Psychological distress and intrusive thoughts in cancer patients. *The Journal of Nervous and Mental*, 185, 346-348.
- Bleiker, E.M., Pouwer, F., van der Ploeg, H.M., Leer, J.W.H., & Ader, H.J. 2000 Psychological distress two years after diagnosis of breast cancer : frequency and prediction. *Patient Education and Counseling*, 40, 209-217.
- Bloom, J.R., Stewart, S.L., Chang, S., & Banks, P.J. 2004 Then and now : quality of life of young breast cancer survivors. *Psycho-Oncology*, 13, 147-60.
- Bloom, J.R., Stewart, S.L., Johnston, M., Banks, P., & Fobair, P. 2001 Sources of support and the physical and mental well-being of young women with breast cancer. *Social Science and Medicine*, 53, 1513-1524.

- Bolger, N., Foster, M., Vinokur, A.D., & Ng, -Rosanna. 1996 Close relationships and adjustments to a life crisis : The case of breast cancer. *Journal of Personality and Social Psychology*, 70, 283-294.
- Desai, M.M., Bruce, M.L., & Kasl, S.V. 1999 The effects of major depression and phobia on stage at diagnosis of breast cancer. *International Journal of Psychiatry in Medicine*, 29, 29-45.
- Ehlke, G. 1988 Symptom distress in breast cancer patients receiving chemotherapy in the outpatient setting. *Oncology Nursing Forum*, 15, 343-346.
- Franks, P., Campbell, T., & Shields, C. 1992 Social relationships and health : The relative roles of family functioning and social support. *Social Science and Medicine*, 34, 779-788.
- がんの統計編集委員会 編 2003 がんの統計 2003 年版. 財団法人がん研究振興財団, 東京
- Ganz, P.A., Coscarelli, C., Fred, C., Kahn, B., Polinski, M.L., & Petersen, L. 1996 Breast cancer survivors: psychosocial concern and quality of life. *Breast Cancer Research and Treatment*, 38, 183-199.
- Green, B.L., Rowland, J.H., Krupnick, J.L., Epstein, S.A., Stockton, P., Stern, N.M., Sperus, I.L., & Steakley, C. 1998 Prevalence of posttraumatic stress disorder in women with breast cancer. *Psychosomatics*, 39, 102-111.
- Hann, D., Winter, K., & Jacobsen, P. 1999 Measurement of depressive symptoms in cancer patients : evaluation of the Center for Epidemiological Studies Depression Scale (CES-D). *Journal of Psychosomatic Research*, 46, 437-443.
- Harrison, J., & Maguire, P. 1994 Predictors of psychiatric morbidity in cancer patients. *British Journal of Psychiatry*, 165, 593-598.
- Helgeson, V.S., Snyder, P., & Seltman, H. 2004 Psychological and physical adjustment to breast cancer over 4 years: identifying distinct trajectories of change. *Health Psychology*, 23, 3-15.
- 福江真由美 1997 疾患・治療に関連した精神医学的問題；乳がん. 山脇成人・監, 内富庸介・編, サイコオンコロジー；がん医療における心の医学 (新精神科選書 2), 診療新社, 大阪, 72-94.
- Irvine, D., Brown, B., Crooks, D., Roberts, J., & Browne, G. 1991 Psychosocial adjustment in women with breast cancer. *Cancer*, 67, 1097-1117.
- 柏木哲夫 1995 死を学ぶ. 有斐閣
- Kissane D.W., Grabsch, B., Love, A., Clarke, D.M., Bloch, S., & Smith, G.C. 2004 Psychiatric disorder in women with early stage and advanced breast cancer : a comparative analysis. *Australian and New Zealand Journal of Psychiatry*, 8, 320-326.
- Lee, M.S., Love, S.B., Mitchell, J.B., Parker, E.M., Rubens, R.D., Watson, J.P., Fentiman, I.S., & Hayward, J.L. 1992 Mastectomy or conservation for early breast cancer : psychological morbidity. *European Journal of Cancer*, 28A, 1340-1344.
- Lichtman, R.R., Taylor, S.E., & Wood, J.V. 1987 Social support and marital adjustment after breast cancer. *Journal of Psychosocial Oncology*, 5, 47-74.

- Maguire, P. 1995 Psychosocial interventions to reduce affective disorders in cancer patients: research priorities. *Psycho-Oncology*, 4, 113-119.
- Matsuoka, Y., Nakano, T., Inagaki, M., Sugawara, Y., Akechi, T., Imoto, S., Murakami, K., Yamawaki, S., & Uchitomi, Y. 2002 Cancer-related intrusive thoughts as an indicator of poor psychological adjustment at 3 or more years after breast surgery : a preliminary study. *Breast Cancer Research and Treatment*, 76, 117-24.
- Meyer, T.J., & Mark, M.M. 1995 Effects of psychosocial intervention with adult cancer patients : A meta-analysis of randomized experiments. *Health Psychology*, 14, 101-108.
- Nelles, W.B., McCaffrey, R.J., Blanchard, C.G., & Ruckdeschel, J.C. 1995 Social supports and breast cancer : A review. *Journal of Psychosocial Oncology*, 9, 21-34.
- Neuling, S.J., & Winefield, H.R. 1988 Social support and recovery after surgery for breast cancer : Frequency and correlations of supportive behaviors by family, friends and surgeon. *Social Science and Medicine*, 27, 385-392.
- NHMRC/NBCC 2000 Psychosocial clinical practice guidelines : Information, support and counselling for women with breast cancer. Commonwealth of Australia.
- Nordin, K., Berglund, G., Glimelius, B., & Sjoden, P.O. 2001 Predicting anxiety and depression among cancer patients : a clinical model. *European Journal of Cancer*, 37, 376-84.
- Northouse, L.L., 1988 Social support in patient's and husbands' adjustment to breast cancer. *Nursing Research*, 37, 91-95.
- O'mahoney, J.M., & Carroll, R.A. 1997 The impact of breast cancer and its treatment on marital functioning. *Journal of Clinical Psychology in Medical Settings*, 4, 397-415
- Pistrang, N., & Barker, C. 1995 The partner relationship in psychological response to breast cancer. *Social Science and Medicine*, 27, 385-392.
- Quinn, M.E., Fontana, A.E., & Reznikoff, M. 1986 Psychological distress in reaction to lung cancer as a function of spousal support and coping strategy. *Journal of Psychosocial Oncology*, 4, 79-90.
- Sabo, D., Brown, J., & Smith, C. 1986 The male role and mastectomy: Support groups and men's adjustment. *Journal of Psychosocial Oncology*, 4, 19-31.
- 佐伯俊成・山脇成人 2003 乳がん患者とその家族への精神面でのケア. *臨床看護*, 29, 1051-1057.
- Schain, W.S., d'Angelo, T.M., Dunn, M.E., Lichter, A.S., & Pierce, L. 1994 Mastectomy versus conservative surgery and radiation therapy : psychosocial consequences. *Cancer*, 73, 1221-1228.
- 高橋都 1997 乳がんの心理・社会的問題；診断と治療による影響. *ターミナルケア*, 7, 141-145.
- 高橋都 2003 乳がん治療と性生活；臨床現場における効果的な性相談のために. *臨床看護*, 29, 1018-1023.

- 高橋都・甲斐一郎・赤林朗・霞富士雄・東靖宏・濃沼信夫・久田満・志真泰夫・大井玄 1999
乳癌患者への心理・社会的支援に関する外科医の意識 第1報：問題の種類と対応するべき職種・支援者. *乳癌の臨床*, 14, 495-502.
- Thomas, S.F., Glynne-Jones, R., Chait, I., & Marks, D.F. 1997 Anxiety in long-term cancer survivors influences the acceptability of planned discharge from follow-up. *Psycho-Oncology*, 6, 190-196.
- Tjemsland, L, Soreide, J.A., & Malt, U.F. 1998 Posttraumatic distress symptom in operable breast cancer III: status one year after surgery. *Breast Cancer Research and Treatment*, 47, 141-151.
- Vernon, S.W., & Jackson, G.L. 1989 Social support, prognosis and adjustment to breast cancer. In K.S. Marking & C.L. Cooper (Eds.), *Aging and health* (pp.165-198). New York : John Wiley & Sons.
- Vess, J.D., Moreland, J.R., & Schwebel, A.I. 1985a An empirical assessment of the effects of cancer on family role functioning. *Journal of Psychosocial Oncology*, 3, 1-16.
- Vess, J.D., Moreland, J.R., & Schwebel, A.I. 1985b A follow-up study of role functioning and the psychological environment of families of cancer patients. *Journal of Psychosocial Oncology*, 3, 1-14.
- Vinokur, A.D., Threatt, B.A., Caplan, R.D., & Zimmerman, B.L. 1989 Physical and psychosocial functioning and adjustment to breast cancer. *Cancer*, 63, 394-405.
- Watson, M., Haviland, J.S., Greer, S., Davidson, J., & Bliss, J.M. 1999 Influence of psychological response on survival in breast cancer: a population-based cohort study. *Lancet*, 354, 1331-1336.
- Weih, K., Enright, T., Howe, G., & Simmens, S.J. 1999 Marital satisfaction and emotional adjustment after breast cancer. *Journal of Psychosocial Oncology*, 17, 33-49.